

公表

事業所における自己評価結果

公表日

令和7年 1月 15日

事業所名	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	○	活動の内容によってテーブルの配置を変えたりすることで、スペースを有効に活用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	○	○	人員基準を満たした上で、その日のお子様の人数によって職員の人数を調整しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	おもちゃスペースやゲームをするところなど、分かりやすく空間を分けています。また、どの位置でもトレーニングに参加しやすいようテーブルを配置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	○	掃除や整理整頓を随時行うことで、お子様にとって過ごしやすい空間作りを努めています。	今後も引き続き、経年劣化していくものを交換したり、カーペットの洗浄などを行っていく予定です。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	○	個室の相談室を設けており、お子様のニーズに応じて(落ち着かない、体調が悪いなど)使用できるよう、常に整理しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	○	○		勤務時間の兼ね合いがあり、なかなか非常勤職員との話し合いの時間が持てていないが、今後は定期的に勤務時間内で話し合いをする場を持ちたいと考えています。
	7	保護者向け評価表より、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	○	毎年1度アンケートに答えていただき、その内容を職員間で共有し、支援内容の見直しや振り返りを行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	○	毎日支援前後にミーティングを行う中で職員の意見を聞く機会を設け、なかなか参加できない非常勤職員に対しても意見箱を置くようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○	今年度は、7月に区の実地検査を受け、そこで指摘を受けた項目についてはすでに改善できたものもあり、現在改善を進めていることについては継続して改善するよう努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○	○		職員配置や業務内容の関係で、外部研修などなかなか参加できていないのが現状です。今後は、それを踏まえた人員配置を行うことで参加機会を増やしていきたいと考えています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成され、公表されているか。	○	○	基準通りに作成しています。(今年度内に公表予定となっています。)	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	○	○	計画作成時には、必ず現状を把握するアセスメントを行ってから業務作成に着手するよう徹底しています。	
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	○	○	計画作成については、各担当職員が案を作成しそれを全職員で確認、検討しながら本案を作り上げていくようにしています。	
	14	放課後等ディサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	○	基本的には全職員に計画を標準化した上で、支援に当たっています。	各職員のスキルや経験、積み込み具合により、理解の差が生じやすい今後は、なるべくすり合わせできる機会を作りたいと考えています。
	15	こどもの発達行動の状況を、構造化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	○		現在は使用できていますが、今後ご利用のお子様の状況に即した仕様を構築しながら、将来的に使用できるよう検討していきたいと考えています。
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援、地域連携」のねらい及び支援内容が踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	○	ガイドラインに沿った計画立案ができるよう、新しい計画の作成時に職員間情報共有を行いました。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	○		トレーニングイベントはそれぞれ担当が考え、管理者が確認するといった流れで行っているが、今後は全体で意見を出し合う場を設けていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	○	時期に合わせて、常に新しい活動を模索したりしながら作成することで、プログラムが固定化しないようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら放課後等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	○	お子様の状態を踏まえて、個別に支援が必要となることと集団の中でこそ育まれることなどを見極めながら計画に反映し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	○	支援前にミーティングを行い、トレーニングやイベントの内容や個別の対応について共有しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、責任の点等を共有しているか。	○	○	支援後にミーティングを行い、なるべくお子様一人一人の様子を細かく報告し合うようにしています。	様子の把握に努めてはいますが、そこらどういった支援をしていくかがなかなか繋がっていないのが現状です。	
関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	○	毎日個別の支援記録を入力しています。不在職員は出勤日にはその記録を確認することを徹底し、支援の検証や改善に繋げています。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	○	事業所だけでなく、相談支援事業所の方との話を踏まえながら、モニタリングを実施し、計画に反映させています。	
	24	放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○	○	トレーニングやイベントは、「4つの基本活動」を意識しながら、職員間で意見を出し合いながら内容を考えています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされているか。自己決定をするかを育てるための支援を行っているか。	○	○	トレーニングやイベントだけでなく、日常生活においても、選択肢を提示したりしながら、自分で選ぶ機会をなるべく多く設けることで、自立を促しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○	○	その都度、お子様の状況を良く把握した職員が参加できるよう体制を調整しています。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○	相談支援事業所の方とは随時連絡を取り合い、時折担当の方がお子様の様子を見に来てくださいます。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○	○		学校との連携は、なかなか連絡が難しいのが状況で現在行えていませんが、今後は支援の繋がりを重視して、なるべく連絡を取り共有できる体制作りを進めさせていただきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか。	○	○		就学前に利用の施設との連携は、なかなか連絡が難しいのが状況で現在行えていませんが、今後は支援の繋がりを重視して、なるべく連絡を取り共有できる体制作りを進めさせていただきます。
	30	学校を卒業し、放課後等ディサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	○	○		本施設利用終了後に利用の施設などとの連携は、なかなか連絡が難しいのが状況で現在行えていませんが、今後は支援の繋がりを重視して、なるべく連絡を取り共有できる体制作りを進めさせていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○		現状では、なかなか研修や助言を受ける機会が持てていないので、今後はそういった機会が持てるような様々な情報を積極的に取り入れていきたいと思っています。
保護者への説明等	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	月に1度、近隣のふれあい館の栽培体験に参加させてもらっています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○		業務時間と合わせ、参加を見合っているが、今後は参加ができるよう時間を調整していきたいと考えています。
	34	15分からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	○	送迎時にお子様のご様子について情報共有をさせていただいております。また、その他でも電話連絡や個別の面談を実施することで共通理解を持つことで進めさせていただいております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等が参加できる研修の機会を提供しているか。	○	○		現在ニーズがないで行っていませんが、今後は情報提供を中心に独自に家族支援の方向性を探していきたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	○	契約時はもちろんのこと、変更があった場合にはその都度、お知らせをさせていただいたり、ご質問があれば説明させていただいております。	
非常時等の対応	37	放課後等ディサービス計画を作成する際には、こどもと保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考を踏まえ、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	○	○	計画作成時に本人、ご家族のニーズは確認するようになっています。	
	38	「放課後等ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等ディサービス計画の同意を得ているか。	○	○	画面のみでの確認になってしまいう場合もありますが、毎回必ず書面を提示して同意を得るようにしています。	
	39	事故等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	○	主に送迎時、時間があれば面談室で、ご相談いただければ、その都度お話しさせていただきます。	今後は、定期的に面談の機会を設けられる体制作りを努めて参ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	○		現在はご要望の声を聞きできていないので実施できていませんが、今後ご要望の声が多くなり次第検討させていただきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	○	対応窓口を設置することで、受け付けた苦情に対しては迅速に対応しております。また、いただいた苦情に対しては、職員間で共有し、今後の事業運営に活かしています。	
42	定期的な通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	○		通信は不定期ではありますが、発行しております。その他の媒体での情報の発信は、手薄になってしまっているので、今後運用を検討し、情報発信の場を設けるよう努めて参ります。	
43	個人情報取扱に十分留意しているか。	○	○			
44	事故の発生とともに保護者等の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	○			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○		現状では努力やリスクを鑑み実施できていませんが、今後地域との繋がりを重要視し、検討していきたいと思っています。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	○	各種マニュアルは定期的に更新し、いつでも確認いただけるよう、提示させていただいております。また、ご質問などにも都度対応させていただきます。		
47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	○	基準通りに作成し、かつ定められた時期に研修、訓練を行っています。また、不参加の職員に対して報告書などを適宜通知してまいります。		
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のあるこどもの状況を確認しているか。	○	○	契約時に確認させていただき、計画の見直し時期など適宜機会を見つけては、お伺いしています。		
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○		現在は当該事項がないため行っておりませんが、今後対応がでることを想定して、事前の取り組みを進めてまいります。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	○	基準通りに作成し、かつ定められた時期に研修、訓練を行っています。また、その内容を支援に活かせるよう職員間での意見交換の場を設けるようにしています。		
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等に周知しているか。	○	○		まだ安全計画作成から隔ちないため、完全に周知できていないので、今後機会を作り、随時内容や取組について周知できるようにして参ります。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○	○	起きた事象については、随時ミーティングなどで確認し、内容によってヒヤリハットとして報告書を作成、共有しています。		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	○	毎年1度アンケートを実施し、また定期的に定められた研修を行うことで、支援全体の見直しや振り返りを行っています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか。	○	○		現在は当該事項がないため行っておりませんが、今後対応がでることを想定して、事前の取り組みを進めてまいります。	